

コレクション展 第II期

巡りあうわたしたち

2021年12月1日〔水〕－12月26日〔日〕



1



3



2

1 奥田小由女《天翔る讃歌》1989年、広島県蔵

2 草間彌生《ドレス》1982年

3 古庵千恵子《冠-V》1998年

“創造する女性アーティストたち”

本展では、広島県女性総合センター「エソール広島」の開館にあわせて、2020年度文化勲章受章者である広島ゆかりの作家・奥田小由女（1936-）が、女性の飛躍を象徴とする作品として1989年に制作した大型レリーフ《天翔る讃歌》^{あまかけさんか}を、当館コレクションとともに展示します。

本展のみどころ

- ・奥田小由女が初めて試みた大作である《天翔る讃歌》^{あまかけさんか}（1989年、広島県所蔵）を東広島市立美術館コレクションとともに展示します。本作は高さ約2m、幅約13mにもおよぶ、これまでの人形作品の枠を超えた大作です。
- ・多様性をうたう現代において、世界的にも女性作家の活躍が注目されるなか、本展は当館コレクションのなかから草間彌生や遠藤彰子など女性作家の作品をコレクション展として特集展示する初めての機会となります。

開催概要

会期 | 2021年12月1日(水)～12月26日(日)
開館時間 | 9:00～17:00(入館は閉館の30分前まで)
休館日 | 月曜日
観覧料 | 一般300円、大学生200円、高校生以下無料(20名以上団体2割引)
主催 | 東広島市立美術館
会場 | 東広島市立美術館 2階展示室B

章構成

第1章 息づく鼓動

食べ物やファッションといった私たちの身近な題材を版画にした草間彌生や、ろうけつ染によって人間の生命力を表現する藤川素子など、その題材や表現方法から、作品に息づく鼓動とも言うべき創造力豊かな表現をご覧ください。

出品作家：奥田小由女、草間彌生、久保田厚子、藤川素子、山本容子

第2章 うつりゆく時間

植物のみずみずしい一瞬をメゾチントという技法で版に刻む丹阿弥丹波子や、画面の中に相反するものを同居させることで不安定な現代社会を油彩で描いた遠藤彰子など、時間のうつろいを様々な視点で捉えた作品を紹介します。

出品作家：遠藤彰子、古庵千恵子、皿谷緋佐子、丹阿弥丹波子、平田周子、古谷博子

関連イベント

東広島国際フェスタ2021連携事業

ワークショップ「みんなで枯れ木に花を咲かせよう」 ※事前申込不要、参加無料

美術館の窓が大きなキャンバスになります！光に透ける色紙を思い思いの形にして貼り、冬の景色を描きましょう。

日時 | 12月4日(土) 10:00～12:00

会場 | 美術館北側入口(公園側)

ギャラリートーク ※事前申込不要、要観覧券

[第1回] 息づく鼓動と時間：当館女性作家コレクションについて

担当学芸員が参加者と展示室で作品を鑑賞しながら、本展の見どころや作品の魅力について紹介します。

日時 | 2021年12月11日(土) 14:00～14:30

会場 | 2階展示室B

[第2回] 作品と巡りあう：子ども鑑賞編

講師の金本美貴さん(西条中学校教諭)と担当学芸員による子ども向けギャラリートーク。作品の前で一緒にお話ししながら鑑賞しましょう。

日時 | 2021年12月12日(日) 14:00～15:00

講師 | 金本美貴(西条中学校教諭)

対象 | 小学生以上(小学生は保護者同伴/一般見学可)

会場 | 2階展示室B